

平成 29 年 8 月

日本医学会分科会長 殿
大学 医学部 長 殿
医 科 大 学 長 殿
大学附属研究所長(医系) 殿
都道府県医師会長 殿
国公立博物館長 殿
関 係 機 関 長 殿

一般財団法人 日本医科器械資料保存協会
理 事 長 釘 宮 豊 城

平成 29 年度「医科器械史研究賞」受賞候補者の推薦依頼について

一般財団法人 日本医科器械資料保存協会は、歴史的に重要な意義をもつ医科器械を収集し、これを医科器械の開発・改良の研究に資するための資料として保存し、医科器械に関連する科学および技術の進歩に貢献することを目的として、日本医科器械学会〈現：一般社団法人 日本医療機器学会〉（日本医学会第 34 分科会）が昭和 59 年（1984）に設立した財団であります。

同財団は、平成 4 年から、本協会の目的を達成するための事業の一つとして、医科器械史の研究に優れた業績をあげた研究者に「医科器械史研究賞」を贈呈しています。つきましては別紙要項により平成 29 年度の候補者を募集いたしますので、貴機関から候補者 1 名をご推薦いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究賞は、貴機関（等）から推薦された候補者のほか、自ら申請した候補者も選考の対象といたしますので、本研究賞について貴機関構成員各位に周知していただきたく、併せてお願い申し上げます。

平成 29 年 8 月

平成 29 年度 (第 26 回)

「医科器械史研究賞」および「青木賞」受賞候補者の募集要項

一般財団法人 日本医科器械資料保存協会

1. 本賞の意義

本協会は歴史的意義を有する医科器械を収集し、これを医科器械の開発・改良の研究資料として保存し、医科器械に関する科学技術の進捗に貢献することを目的として、日本医科器械学会〈現：一般社団法人 日本医療機器学会〉が昭和 59 年に設立した財団であります。「医科器械史研究賞」は医科器械史の研究を奨励するために、平成 4 年から本協会の事業の一つとして、優れた研究者に贈呈してきました。また本協会の設立に大いに寄与された青木利三郎氏を記念して設けられた「青木賞」が、平成 9 年から優れた研究者に奨励賞として贈られています。

2. 応募資格

すでに顕著な業績をおさめた医科器械（ただし、理化学器械、薬科器械、歯科器械に関する研究は除く）に関する研究者で別記の推薦者（団体）から推薦された者、および自薦者。

3. 「医科器械史研究賞」

本賞は賞状とし、副賞として賞金を贈呈します。なお、賞金の総額は 100 万円が計上されています。「医科器械史研究賞」選考委員会が推薦した候補者の中から受賞者を本協会理事会で決定し、賞金額を決定します。

4. 「青木賞」

上記の応募者の中から将来が期待される研究と認められた研究者に対して、奨励賞として賞状と副賞が贈られます。

5. 募集方法

規定の用紙に推薦対象となる受賞候補者の研究題目、推薦（申請）理由、略歴などを記入し、主な論文（10 編以内）を添えて、協会事務局に送付してください。

6. 推 薦

推薦団体は医学会分科会、大学医学部、医系大学ならびに医系付属施設、日本医師会、都道府県医師会、国立私立博物館、指定の関係機関および所属機関の長とします。なお、自薦による応募もできます。